

話題の本から

ファミリー企業の強みと針路を探る

取材・文◎小野田鶴編集部

日本でファミリー企業を正面から取り上げた本はまだ少ない。しかも欧米の翻訳書が中心なので、取っつきにくく感じる人もいるかもしれない。

そんな中で『ファミリー企業の経営学』(1)は、日本人の研究者がファミリービジネス論をまとめた貴重な一冊。日本の上場企業を対象にした独自調査などから日本のファミリー企業の特徴を明らかにし、欧米やアジアと比較。さらに、日本のファミリー企業が成功するための条件について、日本の現状を踏まえながら論じている。

翻訳書で、最近出版されたファミリービジネスの本には、大まかに「ケース主体」のもの、「理論重視」のものがある。前者で代表的なのが『同族経営はなぜ強いのか?』(2)と『ダイナステイ』(3)だ。

『同族経営はなぜ強いのか?』(2)は、優良なファミリー企業のケーススタディから、経営のコツを引き出している。ミシユ

ランやカーギルなど、20年以上にわたって業界でトップクラスの位置にいる約40社を5タイプに分類して紹介。それぞれの強みと弱み、弱みをいかにして克服してきたかを分析する。例えば、品質にこだわる企業は、こ

だわりの外的な方向に向かないかねない。その点、成功しているファミリー企業は、顧客や取引先とのコミュニケーションを重視することで方向性の誤りを察知、素早い決断で軌道修正を図っている、といった具合だ。

『ダイナステイ』(3)は一転して、壮大な歴史小説のような趣の本。ロスチャイルド家やロックフェラー家など、歴史ある名門一族の成長と繁栄、そして時には衰退の様相を、一族の愛憎劇も交えながら描く。トヨタ自動車も豊田家も取り上げられている。

一方、「理論重視」の代表格は『ファミリービジネス 永続の戦略』(4)。世界をリードする研究者たちが分担して執筆し



business

5

1

1『ファミリー企業の経営学』

著者：倉科敏材
出版社：東洋経済新報社
価格：1890円(税込み)

2『同族経営はなぜ強いのか?』

著者：ダニー・ミラー／イザベル・ル・プレトン＝ミラー
訳者：斎藤裕一
出版社：ランダムハウス講談社
価格：3360円(税込み)

3『ダイナステイ』

著者：デビッド・S・ランダス
訳者：中谷和男
出版社：PHP 研究所
価格：2310円(税込み)

4『ファミリービジネス 永続の戦略』

編著者：デニス・ケニヨン・ルヴィネ／ジョン・L・ウオード
監訳者：富樫直記
訳者：秋葉洋子
出版社：ダイヤモンド社
価格：2100円(税込み)

5『オーナー経営の存続と継承』

著者：ジョン・A・デービス／ケリン・E・ガーシック／マリオン・マッカラム・ハンプトン／アイヴァン・ランズバーグ
監訳者：岡田康司
訳者：犬飼みずほ
出版社：流通科学大学出版
価格：2940円(税込み)



た。「スリーサークルモデル」(P32参照)といった基本概念を土台に、相続や資本の配分、一族の子弟の教育や雇用など、ファミリー企業が対処すべき課題を整理。経営者たちが対応を考える上での指針が示されている。

人間関係の問題に注目が集まる

8年前に出版された『オーナー経営の存続と継承』(5)は、現在は入手困難になっているが、原著の『Generation to Generation』(6)は「ファミリービジネス論の名著」として評価が高い。ハーバードビジネススクールの教科書にもなっている(P102参照)。ファミリー企業を営む一族の家族関係に焦点を当て、詳細に分析しているのが特徴だ。家族の不和や対立を経験したファミリー企業の実例も豊富に紹介されている。

洋書まで手を広げれば、実に様々なタイプのファミリービジネス本がある。例えば、『Getting Along in Family Business』

(7)は、ファミリー企業における人間関係をいかに改善するか、という一点にテーマを絞った一冊だ。

学会の動向に興味がある人には、本ではなく論文になるが、『CURRENT TRENDS AND FUTURE DIRECTIONS IN FAMILY BUSINESS MANAGEMENT STUDIES』(8)がお薦め。1996～2003年に発表された主要なファミリービジネスの論文190本が整理されていて、主な論点を鳥瞰できる。ネットでも閲覧可能だ(<http://www.usasbe.org/knowledge/whitepapers/chrisman2003.pdf>)。

最新の研究成果がまとめられているのが『Handbook of Research on Family Business』(9)。研究者団体のifera(P105参照)から出ている論文集で、日本の研究者では、光産業創成大学院大学の後藤俊夫教授が日本のファミリー企業の長寿性に関する論文を寄稿している。



6『Generation to Generation』

(世代から世代へ)

著者：Kelin E. Gersick, John A. Davis, Marion McCollom Hampton, Ivan Lansberg
出版社：Harvard Business School Press

7『Getting Along in Family Business』

(ファミリービジネスの中でうまくやっていく)

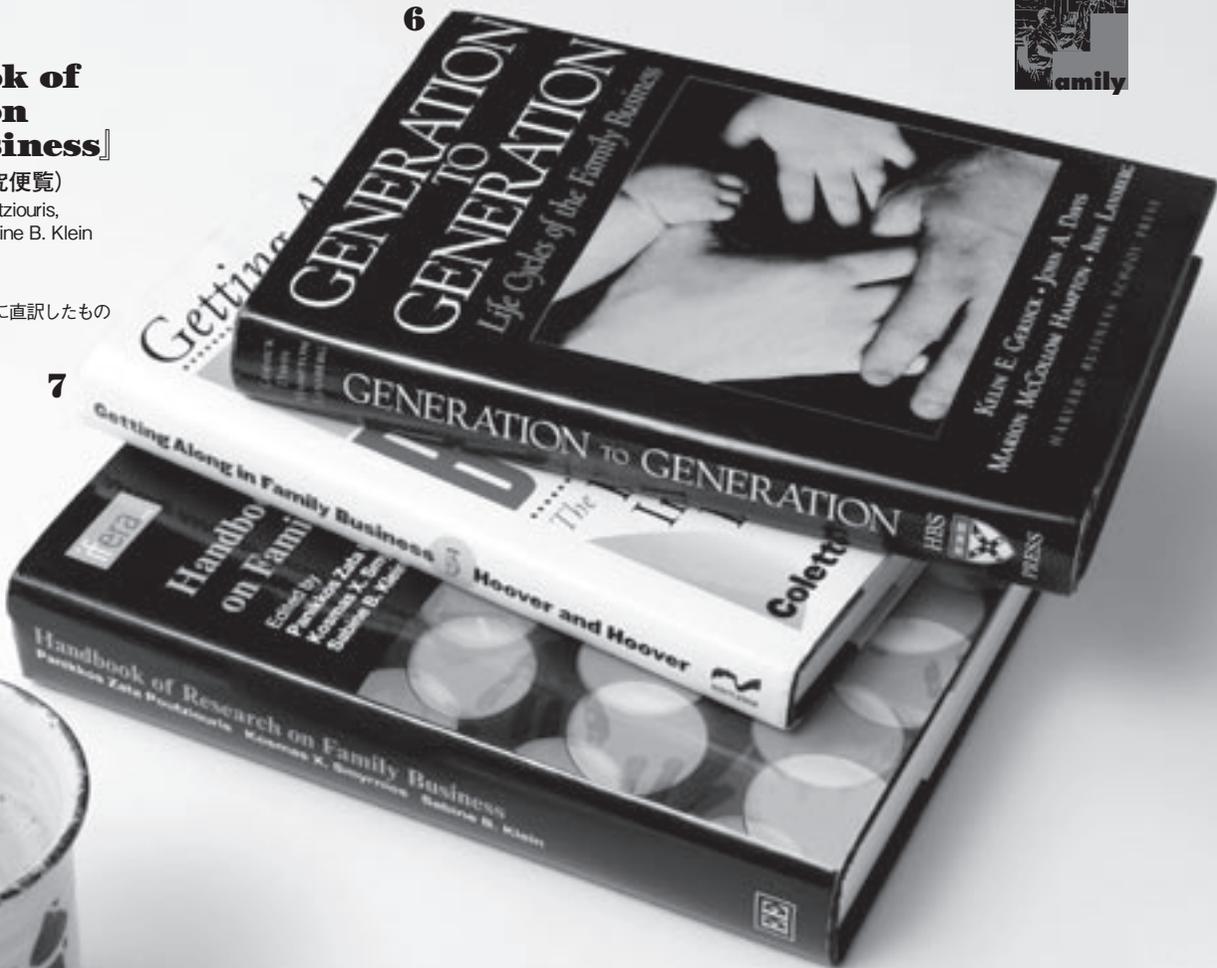
著者：Edwin A. Hoover & Colette Lombard Hoover
出版社：Routledge

8『Handbook of Research on Family Business』

(ファミリービジネス研究便覧)

編者：Panikkos Zata Poutziouris, Kosmas X. Smyrnios, Sabine B. Klein
出版社：Edward Elgar

※カッコ内は欧題を日本語に直訳したもの



写真©尾関裕士